



# Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマット

この機能は、バージョン9 エクスポート フォーマットを使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットの前提条件, 2 ページ](#)
- [Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットについて, 2 ページ](#)
- [Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットの設定方法, 3 ページ](#)
- [Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットの設定例, 6 ページ](#)
- [Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットに関する追加情報, 7 ページ](#)
- [Flexible NetFlow : NetFlow v9 エクスポート フォーマットの機能情報, 8 ページ](#)

## 機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリースノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

# Flexible NetFlow v9 エクスポートフォーマットの前提条件

- ネットワーキング デバイスで、Flexible NetFlow がサポートされたシスコ リリースが稼働していること。

## Flexible NetFlow v9 エクスポート フォーマットについて

### フロー エクスポータ

フローエクスポータは、ルータのコンフィギュレーションで別のコンポーネントとして作成されます。エクスポータは、フロー モニタ キャッシュから NetFlow コレクタなどのリモート システムへデータをエクスポートするために、フロー モニタに割り当てられます。フロー モニタでは、複数のエクスポータをサポートできます。各エクスポータは、使用されるフロー モニタ、およびデータのエクスポート先の NetFlow コレクタのシステム要件を満たすようにカスタマイズできます。

### Flexible NetFlow フロー エクスポータの利点

Flexible NetFlow では、お客様の要件に応じて多数のさまざまなフローエクスポータを設定できます。次に、Flexible NetFlow フロー エクスポータの利点のいくつかを示します。

- エクスポータを使用すると、分析するすべてのタイプのトラフィックに対してエクスポータを作成できるため、トラフィックのタイプごとに異なる NetFlow コレクタへ送信することができます。以前の NetFlow では、分析されたすべてのトラフィックのキャッシュ内のデータが、最大 2 つのエクスポート先に送信されました。
- フローエクスポータでは、フロー モニタごとに最大 10 のエクスポータがサポートされます。以前の NetFlow は、キャッシュごとに 2 つのエクスポート先のみに制限されていました。
- フローエクスポータは、エクスポートに TCP と UDP の両方を使用できます。
- リリースによっては、フローエクスポータで、エクスポート先に送信されるパケット内のサービスクラス (CoS) を使用できるため、ネットワーク全体でパケットに適切なプライオリティが指定されます。以前の NetFlow エクスポータは、エクスポート先に送信されるパケット内で CoS を使用していませんでした。
- リリースによっては、フローエクスポータ トラフィックを暗号化できます。

# Flexible NetFlow v9 エクスポートフォーマットの設定方法

## フロー エクスポートの設定

フロー エクスポートを設定するには、次の必須作業を実行します。



(注) フロー エクスポートごとに、1 つ宛先のみがサポートされます。複数の宛先にデータをエクスポートする場合は、複数のフロー エクスポートを設定してフロー モニタに割り当てる必要があります。

IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを使用して宛先にエクスポートできます。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow exporter** *exporter-name*
4. **description** *description*
5. **destination** {*ip-address* | *hostname*} [**vrf** *vrf-name*]
6. **export-protocol** {*netflow-v5* | *netflow-v9* | *ipfix*}
7. **dscp** *dscp*
8. **source** *interface-type* *interface-number*
9. **option** {*exporter-stats* | *interface-table* | *sampler-table* | *vrf-table*} [**timeout** *seconds*]
10. **output-features**
11. **template data timeout** *seconds*
12. **transport udp** *udp-port*
13. **ttl** *seconds*
14. **end**
15. **show flow exporter** *exporter-name*
16. **show running-config flow exporter** *exporter-name*

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例 : Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • パスワードを入力します (要求された場合)。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： Device# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>flow exporter exporter-name</b>  例： Device(config)# flow exporter EXPORTER-1	フローエクスポートを作成し、Flexible NetFlow フローエクスポートコンフィギュレーションモードを開始します。  • このコマンドでは、既存のフローエクスポートを変更することもできます。
ステップ 4	<b>description description</b>  例： Device(config-flow-exporter)# description Exports to the datacenter	(任意) コンフィギュレーションおよび <b>show flow exporter</b> コマンドの出力に表示されるエクスポートの説明を設定します。
ステップ 5	<b>destination {ip-address   hostname} [vrf vrf-name]</b>  例： Device(config-flow-exporter)# destination 172.16.10.2	エクスポートの宛先システムの IP アドレスまたはホスト名を指定します。  (注) IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを使用して宛先にエクスポートできます。
ステップ 6	<b>export-protocol {netflow-v5   netflow-v9   ipfix}</b>  例： Device(config-flow-exporter)# export-protocol netflow-v9	エクスポートで使用する NetFlow エクスポートプロトコルのバージョンを指定します。NBAR から抽出されたフィールドのエクスポートは IPFIX でのみサポートされています。  • デフォルト値： <b>netflow-v9</b> 。
ステップ 7	<b>dscp dscp</b>  例： Device(config-flow-exporter)# dscp 63	(任意) エクスポートによって送信されるデータグラムの Diffserv コードポイント (DSCP) パラメータを設定します。  • 引数 <i>dscp</i> の範囲は 0 ~ 63 です。デフォルト： [0]。
ステップ 8	<b>source interface-type interface-number</b>  例： Device(config-flow-exporter)# source ethernet 0/0	(任意) エクスポートで、エクスポートされたデータグラムの送信元 IP アドレスとして IP アドレスを使用するローカルインターフェイスを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 9	<p><b>option {exporter-stats   interface-table   sampler-table   vrf-table} [timeout seconds]</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# option exporter-stats timeout 120</pre>	<p>(任意) エクスポートのオプション データ パラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3つのオプションを同時に設定できます。</li> <li>• 引数 <i>seconds</i> の範囲は、1 ~ 86,400 です。デフォルト値 : 600。</li> </ul>
ステップ 10	<p><b>output-features</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# output-features</pre>	<p>(任意) Quality of Service (QoS) と暗号化を使用したエクスポート パケットの送信をイネーブルにします。</p>
ステップ 11	<p><b>template data timeout seconds</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# template data timeout 120</pre>	<p>(任意) タイムアウトに基づいてテンプレートの再送信を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 引数 <i>seconds</i> の範囲は、1 ~ 86400 です (86400 秒 = 24 時間)。</li> </ul>
ステップ 12	<p><b>transport udp udp-port</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# transport udp 650</pre>	<p>エクスポートされるデータグラムを宛先システムが待機する UDP ポートを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 引数 <i>udp-port</i> の範囲は 1 ~ 65536 です。</li> </ul>
ステップ 13	<p><b>ttl seconds</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# ttl 15</pre>	<p>(任意) エクスポートによって送信されるデータグラムの存続可能時間 (TTL) 値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 引数 <i>seconds</i> の範囲は 1 ~ 255 です。</li> </ul>
ステップ 14	<p><b>end</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device(config-flow-exporter)# end</pre>	<p>フロー エクスポート コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>
ステップ 15	<p><b>show flow exporter exporter-name</b></p> <p>例 :</p> <pre>Device# show flow exporter FLOW_EXPORTER-1</pre>	<p>(任意) 指定されたフロー エクスポートの現在のステータスを表示します。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 16	<b>show running-config flow exporter</b> <i>exporter-name</i>  例 :  Device# show running-config flow exporter FLOW_EXPORTER-1	(任意) 指定されたフロー エクスポートの設定を表示します。

## Flexible NetFlow v9 エクスポートフォーマットの設定例

### 例 : NetFlow v9 エクスポートフォーマットの設定

次に、Flexible NetFlow に対するバージョン 9 エクスポートの設定方法の例を示します。

この例は、グローバル コンフィギュレーション モードで開始します。

```

!
flow exporter EXPORTER-1
 destination 172.16.10.2
 export-protocol netflow-v9
 transport udp 90
 exit
!
flow record v4_r1
 match ipv4 tos
 match ipv4 protocol
 match ipv4 source address
 match ipv4 destination address
 match transport source-port
 match transport destination-port
 collect counter bytes long
 collect counter packets long
!
flow monitor FLOW-MONITOR-1
 record v4_r1
 exporter EXPORTER-1
!
ip cef
!
interface GigabitEthernet 0/0/0
 ip address 172.16.6.2 255.255.255.0
 ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
!

```

# Flexible NetFlow v9 エクスポートフォーマットに関する追加情報

## 関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Command List, All Releases』
Flexible NetFlow の概念情報および設定作業	『Flexible NetFlow コンフィギュレーションガイド』
Flexible NetFlow コマンド	『Cisco IOS Flexible NetFlow Command Reference』

## 標準

標準	タイトル
なし	—

## MIB

MIB	MIB のリンク
なし	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 <a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a>

## RFC

RFC	タイトル
RFC 3954	『Cisco Systems NetFlow Services Export Version 9』

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a></p>

## Flexible NetFlow : NetFlow v9 エクスポート フォーマットの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1 : Flexible NetFlow : NetFlow v9 エクスポートフォーマットの機能情報

機能名	リリース	機能情報
Flexible NetFlow : NetFlow v9 エクスポートフォーマット	12.2(33)SRE 12.2(50)SY 12.4(9)T 15.0(1)SY 15.0(1)SY1 Cisco IOS XE Release 3.1S Cisco IOS XE Release 3.2SE	この機能は、バージョン9 エクスポートフォーマットを使用したエクスポートパケットの送信をイネーブルにします。  この機能のサポートは、Cisco 7200 および 7300 ネットワーク処理エンジン (NPE) シリーズルータ用として、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE で追加されました。  次のコマンドが導入または変更されました。 <b>export-protocol</b>

